



ゆめのロボットを提案しよう

なまえ： _____

あなたは、人を助けるロボットを提案することになりました。

1.考えてみよう どんなロボットを提案しますか。 アイディアを書き出してみよう。

誰	どんな願い
説明図	

④ ロボットから矢印を出し、工夫点やその工夫はどんな願いをかなえるものなのか書き出そう。

【願い】介護の負担を減らしたい

話し相手ができる 頭脳

人を持ち上げられる腕

! スキルのポイント

- ① アイディアに「まちがい」はありません。思いついた事を短い言葉でたくさん書いてみましょう。
- ② 伝える順番は、聞き手がどんな順番で理解すると分かりやすいかを考えて決めます。伝えたい順番とは違う場合があります。


2.やってみよう 説明図に描いた^かアイデアをもとに、ロボットの紹介文を書いてみよう。

どのような事柄を、どのような順序で書くとうまく伝わるか、ステップチャートを使って、考えよう。

はじめ



なか



おわり





を提案しよう

なまえ:

あなたは、

を提案することになりました。

1.考えてみよう どんな提案しますか。 アイディアを書き出してみよう。

誰

どんな願い

説明図

! スキルのポイント

- ① アイディアに「まちがい」はありません。思いついた事を短い言葉でたくさん書いてみましょう。
- ② 伝える順番は、聞き手がどんな順番で理解すると分かりやすいかを考えて決めます。伝えたい順番とは違う場合があります。

2.やってみよう 説明図に描いた^かアイデアをもとに、紹介文を書いてみよう。

どのような事柄を、どのような順序で書くとうまく伝わるか、ステップチャートを使って、考えよう。

はじめ



なか



おわり





情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
<p>B4：伝達内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を説得するために論理を組み立てられる 	<p>総合的な学習の時間 「〇〇について提案しよう」</p> <p>*「提案シート」として、自分の考えやイメージをまとめて、伝える学習において活用可。</p>

4年 総合的な学習の時間「ゆめのロボットの提案をしよう」

学習活動	準備物・留意点等
<p>1. 考えてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ゆめのロボットを提案しよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマから想起されるロボットの説明図を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を持って取り組めるよう、誰に対して、何のために考えるのかを共通理解しておく。 ・説明図を描く際には、どこが工夫点で、何のために考えたのかが分かるように、工夫部分から矢印を引き、言葉での説明を加えさせる。
<p>2. やってみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が考えたロボットの紹介文を書いてみよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップチャートを使いながら、説明図を文章化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップチャートは、「はじめ」「中」「おわり」の構成になるように順序を考えさせる。 ・考えた工夫の全てを文章にするのではなく、ロボットのおすすめしたい事柄を選び文章化させることで、自分が一番大切だと考えていることや、不足している考えに気付かせる。

※このワークシートは、自分の考えやイメージをまとめ、伝える学習において活用できます。ステップチャートは伝える内容の構成を考える時に役立ちます。

- ・相手意識を持って取り組めるよう、誰に対して、何のために考えるのかを共通理解しておく。
- ・説明図を描く際には、どこが工夫点で、何のために考えたのかが分かるように、工夫部分から矢印を引き、言葉での説明を加えさせる。

探究スキル

ゆめのロボットを提案しよう

あなたは、人を助けるロボットを提案することになりました。

1.考えてみよう どんなロボットを提案しますか。アイデアを書き出してみよう。

誰	どんな願い
ロボットメーカーの社長さん	体の不自由な人を助けるロボットを作りたい

説明図

② ロボットから矢印を出し、工夫点やその工夫はどんな願いをかなえるものなのか書き出そう。

【願い】介護の負担を減らしたい

話し相手ができる機能

人を持ち上げられる腕

① スキルのポイント

① アイディアに「まちがいはありません。思いついた事を短い言葉でたくさん書いてみましょう。
② 伝える順番は、聞き手がどんな順番で理解すると分かりやすいかを考えて決めます。伝えたい順番とは違う場合があります。

24

- ・ステップチャートは、「はじめ」「中」「おわり」の構成になるように順序を考えさせる。
- ・考えた工夫の全てを文章にするのではなく、ロボットのおすすめしたい事柄を選び文章化させることで、自分が一番大切だと考えていることや、不足している考えに気付かせる。

2.やってみよう 説明図に描いたアイデアをもとに、ロボットの紹介文を書いてみよう。

どのような事柄を、どのような順序で書くとうまく伝わるか、ステップチャートを使って、考えよう。

はじめ

高齢化社会の今、介護する仕事につく人が少なくなっている。

中

ベッドから体を起こしてあげたり、重い荷物を運んだりしなければならない。

人の代わりに、図のような介護ロボットがあれば、かなり助けになると思う。

他の機能として、話し相手になることができると、介護される人も安心だと思う。

おわり

このようなアイデアのロボットを作ることを考えていただけませんか。

25

アドバイザーのコメント

探究スキル【伝達内容の構成】は、相手を説得するために論理を組み立てられるスキルです。相手に自分の提案を分かりやすく伝えるために、伝える内容の構成を順序立てて考えさせ、伝達内容全体を見直しさせることが重要です。ワークシートにあるステップチャートを用いることで、構成を考えやすくなります。